

一般質問《9月会議》

9月5日～7日に一般質問を行いました。



全ての内容は動画で視聴できます。HPで検索いただくか、QRコードを読み取ってご覧ください。



会派に属さない議員
奥津 一俊 議員

○防災行動計画の策定について

○全ての遊具が利用できる方法について



【問】 降灰10cmの火山災害発災後、市民の生活環境を保持するための防災行動計画の策定は。

【答】 条件により変わりますが、本市以外でも広範囲での降灰が予想されます。日常生活の支障を取り除くためには、多様な事業者の広域的な取り組みが必要と考えます。

【問】 防災前、平時と異なる緊急事態であることをはっきりと伝えるために「バイアス」を研究、そして

【答】 都市公園設置の遊具



日本共産党
川口 清之 議員

○コロナ対策について



【問】 本市のコロナワクチン接種状況は。

【答】 申請により一人当たりタクシー券2千円分を昨年度は84人、今年度は、8月17日時点で81人に交付しています。

【問】 高齢者施設および介護施設での接種状況は。

【答】 4回目の接種は、9割以上の施設で8月までに完了しています。

【問】 本市のワクチン接種市町村輸送機能強化事業の実施状況は。

【答】 申請により一人当たりタクシー券2千円分を昨年度は84人、今年度は、8月17日時点で81人に交付しています。

【問】 水田活用の直接支払交付金の維持・拡充および畑地化への支援は。

【答】 主食米以外の作物を生産する農家に対する交付金の見直しは、今後の営農や地域農業への影響を危惧しています。



新志会
山谷 仁 議員

○滝沢市総合福祉センター(仮称)建設要望について



【問】 市内21福祉関係団体から、現在の福祉センターは手狭であり、積極的に活動していくために、総合福祉センター機能を有した新たな拠点となる施設が必要との要望は。

【答】 総合福祉センターとしての機能である、児童から高齢者まで、地域住民の福祉や生活の維持向上として幅広く利用される場の設置については、既存の施設や関係団体の事業運営状況も含め、その必要性や利活用について検討します。

【問】 総合福祉センターという名称の施設が県内14市の中で唯一が必要性は。

【答】 「市民の主体性および自立性を尊重し、その活動を積極的に支援する」とともに、地域づくりを具体的に推進するため、その手段となる施策や地域の取り組みなどを整理します。

【問】 要望に対し第2次検討が重要と考えます。



日本共産党
仲田 孝行 議員

○県央ごみ・し尿処理広域化について



【問】 ごみ処理施設の建設費や運営費の高騰、市民の負担増の内容は。

【答】 基本構想の策定以降、資材費や人件費の高騰による影響が見込まれ、皆さんにはごみの分別方法の変更を考えています。また、プラスチック製品の分別収集を検討しています。

【問】 建設に当たっての栗石川の越水や氾濫等への対策、堤防工事の計画は。

【答】 整備予定地は盛岡防

【問】 側溝の蓋整備による歩道の確保は。

【答】 現時点での実施は難しいと考えています。

【問】 関係機関との協議や情報共有を図り、市全体で交通安全対策について検討します。

【問】 埋蔵文化財センターの活用促進について等



公明党
小田島 清美 議員

○歩行者の安全確保について



【問】 胃がん検診で、希望者への内視鏡カメラによる検査導入は。

【答】 実施体制の構築体制が必要であることから

【問】 史跡案内板の改修は。

【答】 現地調査による確認をもとに、優先度を決定し対応します。

【問】 環状列石広場でのイベント開催は。

【答】 史跡の見学会、市内小学校の社会科見学やイベント開催を通して利用促進につなげます。

【問】 別室登校の生徒のための学習室で、つまずきに合わせた個別学習を実施することに、学習への意欲を高め、抱える悩みの相談に対応することができるよう支援していきます。



滝沢市民クラブ
まつだ かずお
議員

○スマート農業について ○コロナ禍の 学校教育について



【問】スマート農業の進捗状況は。

【答】現在、デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用し、スマート農業からキック仕組みづくり事業を実施しています。本事業は地域農業の担い手となる法人に対してICT農業機械の導入に補助を行うものです。対象地区の方々に説明会と研修会を行い、一般社団法人が設立しました。



【問】考えられる課題とその対策は。

【答】地域の農業者の理解や協力が必要不可欠であり、自立していくためには地域全体の共通理解を図ることが課題です。来年度4月からの稼働にあたり、法人経営に係る専門家の派遣等による課題解決に向けた支援とともに、稼働後も引き続き必要な対応を行います。

【問】コロナ禍による児童生徒の生活の変化とその対応は。

【答】常時マスク着用が大きな変化と捉えています。基本的な対策をしながら、子どもたちの健やかな学びを保障します。



会派に属さない議員
かんの ふみお
議員

○ふるさと納税について ○災害避難所等の周知と 充実について等



【問】3年度本市のふるさと納税の実績は3380万円、14市の平均の約4%である。この実績に対する見解は。

【答】ポータルサイトの追加や返礼品の見直し、追加を行いました。昨年度比で減少となりました。返礼品情報の提供や新たな返礼品の掘り起こしなど、更なる取り組みの強化を行います。

【問】災害避難所の市民への周知は。

【答】28避難所のうち15か所に看板を設置しており、今後も順次整備を進めていきます。

【問】道路新設、拡幅後のガードレール等の設備の必要性は。

【答】設置基準に基づき交通安全施設を検討します。



滝政会
いのうえ じゅん
議員

○再生可能エネルギーの普及について



【問】普及の取り組みは。

【答】公共施設の新設や改修の際には活用を検討します。また、一般家庭等へは、国や県の補助事業の周知を行っています。

【問】山林や休耕農地への建設の環境問題対策は。

【答】自然環境や景観、防災的な機能維持は重要と考え、事業の把握に努めるとともに、事業者へ周辺環境への配慮や地域住民への説明等を促します。

【問】ガイドライン整備の

【答】施設に起因する被害等の相談は、2年度から今年度まで1件ずつで雨水流入や雑草の繁茂、太陽光パネルの損壊といった内容です。業者によっては指導に直ちに応じず複数回にわたり指導を行っています。



公明党
あいはら たかひこ
議員

○児童発達支援、放課後 デイサービスについて ○女性デジタル人材の 育成について



【問】児童発達支援、放課後デイサービスの利用ニーズの把握は。

【答】市は自立支援協議会相談支援分科会を月2回開催し、利用者のニーズの把握に努めています。

【問】児童発達支援事業の利用者の受け入れ数が少ないのでは。

【答】現在、児童発達支援事業所が4箇所、放課後等デイサービス事業所が5箇所あり、利用者の定員は合計90人です。盛岡広域の事業所や市内事業所も利用者相互に受け入れ、対象者の特性にあった事業所が選定できることで対応していきます。

【問】デジタル分野における女性の就労支援は。

【答】デジタル人材の育成は、市の重点的な取り組みであり、事業実施の際には内容や情報発信の仕方を工夫するなど、女性が参加しやすい事業としていきます。

議会モニターさんの意見・感想

議会だより第44号でいただいたご意見、感想を掲載します。

【意見】

★ 会派代表質問

○ヤングケアラーの問題は最近ニュース等でも取り上げられています。市内の実態も気になりました。

★ 当初予算

○1面に当初予算総額と重点施策が掲載されているが、残りのお金は何に使われようとしているのか分からない。分野別の総額をグラフ化したものを掲載し、予算の動向がつかめるようにした方がよかったですのではないか。

○グラフは一体化し、一方を棒グラフ、一方を折れ線グラフで示した方が見やすくてよかったですのではないか。

○イラストの使い方に工夫がほしかったように思う。



【感想】

○今回の会派代表質問のページは、行間が少し広くなったような感じで見やすかった。

○保育園児の写真が掲載されているが、次代を担う園児の笑顔がほほえましく、かつ滝沢市のシンボルでもある岩手山もしっかり入っており、とても好感が持てた。

○4年度歳入歳出予算の全用途予算審査での委員会質疑の内容がうまくまとめられていた。

○4年度予算に関し、各会派が目玉している点が明らかになっており、当局側も予算執行にあたっての参考になったのではないかと。

《新シリーズ「かっこうのさえずり」について》

○一流と呼ばれる人の言葉には重みがありました。このような取り組みは良いと思います。

○今回の号から始まったシリーズ、大変面白く拝読した。不定期といわず、ぜひ毎号掲載してほしい。

○地域の中で活躍する人々を取り上げていくシリーズのようですので、取材が大変だとは思いますが、不定期ではなく毎号掲載されることを希望します。